

【府内におけるがん患者の現状】

- 大阪府では、平成 21 年の悪性新生物 75 歳未満年齢調整死亡率（人口 10 万対）が 93.8 人と、全国平均の 84.4 人と比べて約 10 ポイント高く、この原因の一つには市町村がん検診事業の対象となっている 5 がん（肺・胃・大腸・乳・子宮）の検診受診率が著しく低いことがある。（表 1）

（表 1）悪性新生物 75 歳未満年齢調整死亡率の状況（人口 10 万対）

| 区 分 | 平成 17 年 | 平成 18 年 | 平成 19 年 | 平成 20 年 | 平成 21 年 |
|-----------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 全国平均 | 92.4 人 | 90.0 人 | 88.5 人 | 87.2 人 | 84.4 人 |
| 大阪府 (全国での順位) | 101.8 人 (45 位) | 98.9 人 (45 位) | 97.3 人 (44 位) | 95.9 人 (44 位) | 93.8 人 (46 位) |

資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

（参考 1）平成 19 年国民生活基礎調査による都道府県別がん検診受診率

大阪府の検診受診率の状況（全国順位）

| | | | | | |
|--------|------|--------|------|-------|------|
| 【胃がん】 | 47 位 | 【肺がん】 | 46 位 | 【乳がん】 | 45 位 |
| 【大腸がん】 | 43 位 | 【子宮がん】 | 43 位 | | |

資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター